



For your future™

News Release

報道ご関係者各位  
2013年2月14日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK:945

## 2012年度第3四半期報告

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長:ギャビン・ロビンソン、本社:東京都調布市)の2012年度第3四半期業績をお知らせいたします。

当社は、2012年11月に医療保険「こだわり医療保険」、変額保険「未来ステップ」を新たに発売する等、引き続き商品の多様化および販売チャネルの強化を推進してまいりました。2012年4~12月期においては、新遡増定期保険の販売が好調に推移したこと等により、個人保険・個人年金保険合算の新契約年換算保険料は、前年同期比18.9%増の448億円となりました。新契約が伸展した結果、保有契約年換算保険料も前年度末比7.8%増の3,518億円と伸展いたしました。

2012年4~12月期の損益状況については、株式市場が回復基調にあり個人変額年金保険の最低保証に係る責任準備金の戻入益が発生したものの、好調な販売に伴う新契約費用の増加があったこと等により、基礎利益は1億円となりました。また、金利変動の影響を軽減する手段の一つとして責任準備金対応債券の比率を高めていく過程で、国債等の売却益が生じたことにより、キャピタル損益は51億円の利益となりました。経常利益は35億円、法人税等調整額を差し引いた後の純利益は、17億円となりました。また、当社のソルベンシー・マージン比率は、2012年12月末時点で1,057.7%と引き続き高い水準を維持しています。

2012年4~12月期業績について、ギャビン・ロビンソン社長は、次のように述べています。

「当期も、当社の販売は好調に推移し、順調に事業を拡大しつつあります。3つの販売チャネル(営業職員、代理店、金融機関窓販)の強化を引き続き推進し、お客さまにとって、より良い商品とサービスを提供してまいります」

### マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。お客さまは、マニユライフが信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を提供することを期待されています。同社職員、エージェンツおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012年12月31日現在5,320億カナダドル(5,350億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャル(マニユライフ)として、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト([www.manulife.com](http://www.manulife.com))をご覧ください。マニユライフ生命のウェブサイトは次の通りです。([www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp))



## 2012 年度 第 3 四半期報告

2012 年度第 3 四半期(4 月 1 日～12 月 31 日)の業績は添付のとおりです。

### < 目 次 >

	頁
1. 主要業績.....	1
2. 資産運用の実績(一般勘定).....	3
3. 四半期貸借対照表.....	5
4. 四半期損益計算書.....	6
5. 経常利益等の明細(基礎利益).....	8
6. ソルベンシー・マージン比率.....	9
7. 特別勘定の状況.....	11
8. 保険会社及びその子会社等の状況.....	11

### 【別添】

(参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2011年度末		2012年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	706	45,716	725	102.7	50,431	110.3
個 人 年 金 保 険	304	16,148	303	99.9	16,499	102.2
団 体 保 険	—	386	—	—	383	99.4
団 体 年 金 保 険	—	53	—	—	48	91.1

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金及び個人年金保険に付加された特約の死亡保障額を合計したものです。ただし、個人変額年金保険については、保険料積立金の金額です。
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2011年度 第3四半期累計期間				2012年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	90	6,140	6,214	△ 74	81	89.8	9,165	149.3	9,206	△ 40
個 人 年 金 保 険	7	491	491	—	7	108.5	546	111.2	546	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約の個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。ただし、個人変額年金保険については、新契約時の基本保険金額です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位:百万円、%)

区 分	2011年度末	2012年度 第3四半期会計期間末	
			前年度末比
個 人 保 険	177,294	201,918	113.9
個 人 年 金 保 険	149,025	149,881	100.6
合 計	326,319	351,799	107.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	92,047	94,195	102.3

### ・新契約

(単位:百万円、%)

区 分	2011年度 第3四半期累計期間	2012年度 第3四半期累計期間	
			前年同期比
個 人 保 険	32,851	38,582	117.4
個 人 年 金 保 険	4,812	6,206	129.0
合 計	37,664	44,788	118.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	16,029	10,001	62.4

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)です。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
3. 年換算保険料(新契約)は、新契約に、転換による純増加を加えた数値です。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2011年度末		2012年度 第3四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	25,087	3.5	12,826	1.6
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	602,213	83.6	685,304	86.3
公 社 債	364,465	50.6	439,606	55.4
株 式	16,745	2.3	31,347	3.9
外 国 証 券	191,431	26.6	197,691	24.9
公 社 債	190,915	26.5	197,050	24.8
株 式 等	515	0.1	641	0.1
その他の証券	29,570	4.1	16,658	2.1
貸付金	8,162	1.1	8,010	1.0
不動産	32,353	4.5	30,756	3.9
繰延税金資産	9,571	1.3	7,503	0.9
その他	43,305	6.0	49,463	6.2
貸倒引当金	△ 44	△ 0.0	△ 45	△ 0.0
合 計	720,650	100.0	793,819	100.0
うち外貨建資産	92,851	12.9	103,383	13.0

(注)「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しています。

## (2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	2011年度末					2012年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差 益	差 損	差 益			差 損		
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	104,430	98,322	△ 6,108	2,191	8,299	211,483	209,126	△ 2,357	3,544	5,902
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	484,702	497,357	12,655	14,733	2,078	453,664	472,896	19,231	21,149	1,918
公 社 債	316,405	323,890	7,484	8,116	631	286,847	291,899	5,051	6,148	1,097
株 式	15,974	16,321	346	1,120	773	29,484	30,422	937	1,722	784
外 国 証 券	123,951	127,576	3,624	4,090	466	122,443	133,916	11,472	11,478	5
公 社 債	123,770	127,060	3,290	3,756	466	122,261	133,274	11,012	11,018	5
株 式 等	181	515	334	334	—	181	641	459	459	—
その他の証券	28,370	29,570	1,199	1,406	207	14,889	16,658	1,768	1,800	31
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	589,132	595,679	6,547	16,925	10,378	665,148	682,022	16,873	24,693	7,820
公 社 債	356,980	365,863	8,882	9,538	655	434,555	441,464	6,909	8,347	1,438
株 式	15,974	16,321	346	1,120	773	29,484	30,422	937	1,722	784
外 国 証 券	187,806	183,924	△ 3,881	4,860	8,742	186,218	193,476	7,257	12,823	5,565
公 社 債	187,625	183,409	△ 4,216	4,526	8,742	186,037	192,835	6,797	12,363	5,565
株 式 等	181	515	334	334	—	181	641	459	459	—
その他の証券	28,370	29,570	1,199	1,406	207	14,889	16,658	1,768	1,800	31
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。  
2. 上記の責任準備金対応債券に関連して、通貨関連のデリバティブ取引があり、その差損益は2012年度第3四半期会計期間末で5,182百万円、2011年度末で7,233百万円です。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2011年度末	2012年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	353	853
その他有価証券	70	70
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	70	70
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	0	0
合 計	424	924

## (3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	2011年度末 要約貸借対照表 (2012年3月31日現在)	2012年度 第3四半期会計期末 (2012年12月31日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金及び預貯金	31,233	17,956
有価証券	1,965,032	2,054,563
国債	242,351	286,503
地方債	9,535	8,638
社債	112,578	144,465
株外	16,745	31,347
外国証券	191,431	197,691
その他の証券	1,392,389	1,385,917
貸付金	8,162	8,010
保険約款貸付	5,455	5,481
一般貸付	2,707	2,528
有形固定資産	33,423	31,600
無形固定資産	9,750	8,789
再保険資産	9,528	5,330
その他の資産	24,345	37,136
繰延税金資産	9,571	7,503
貸倒引当金	△ 44	△ 45
資産の部合計	2,091,003	2,170,845
(負債の部)		
保険契約準備金	1,984,143	2,067,416
支払準備金	12,038	14,181
責任準備金	1,969,309	2,050,807
契約者配当準備金	2,794	2,426
代理店借入金	4,601	1,114
再保険借入金	12,284	3,407
その他の負債	18,277	22,652
未払法人税等	88	66
リース債務	179	95
資産除去債務	206	209
その他の負債	17,802	22,279
役員賞与引当金	8	34
退職給付引当金	2,797	3,454
価格変動準備金	703	901
負債の部合計	2,022,816	2,098,979
(純資産の部)		
資本	56,400	56,400
利益剰余金	4,218	5,879
その他利益剰余金	4,218	5,879
繰越利益剰余金	4,218	5,879
株主資本合計	60,618	62,279
その他有価証券評価差額金	7,540	9,261
繰延ヘッジ損益	28	324
評価・換算差額等合計	7,569	9,586
純資産の部合計	68,187	71,865
負債及び純資産の部合計	2,091,003	2,170,845

#### 4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	2011年度 第3四半期累計期間 (2011年 4月 1日から 2011年 12月 31日まで)	2012年度 第3四半期累計期間 (2012年 4月 1日から 2012年 12月 31日まで)
		金 額	金 額
<b>経 常 収 益</b>		<b>343,563</b>	<b>455,584</b>
保 險 料 等 収 入		<b>260,541</b>	<b>362,671</b>
保 險 料		179,890	213,775
再 保 險 収 入		80,651	148,895
<b>資 産 運 用 収 益</b>		<b>14,510</b>	<b>87,985</b>
(うち利息及び配当金等収入)	(	9,456)	( 11,631)
(うち有価証券売却益)	(	4,343)	( 7,486)
(うち金融派生商品収益)	(	631)	( -)
(うち特別勘定資産運用益)	(	-)	( 63,140)
<b>そ の 他 経 常 収 益</b>		<b>68,511</b>	<b>4,927</b>
(うち責任準備金戻入)	(	64,795)	( -)
<b>経 常 費 用</b>		<b>345,059</b>	<b>452,068</b>
保 險 金 等 支 払 金		<b>229,759</b>	<b>315,052</b>
保 險 金		18,464	14,784
年 給 付 金		13,652	18,647
解 約 返 戻 金		18,936	21,454
そ の 他 返 戻 金		56,461	59,463
再 保 險 料		2,797	1,396
再 保 險 料		119,447	199,306
<b>責 任 準 備 金 等 繰 入 額</b>		<b>432</b>	<b>83,643</b>
支 払 準 備 金 繰 入 額		429	2,142
責 任 準 備 金 繰 入 額		-	81,498
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		2	1
<b>資 産 運 用 費 用</b>		<b>67,373</b>	<b>3,803</b>
(うち支払利息)	(	265)	( 10)
(うち有価証券売却損)	(	1,585)	( 2,035)
(うち有価証券評価損)	(	2,332)	( 338)
(うち金融派生商品費用)	(	-)	( 154)
(うち特別勘定資産運用損)	(	59,762)	( -)
<b>事 業 費 用</b>		<b>40,791</b>	<b>43,411</b>
<b>そ の 他 経 常 費 用</b>		<b>6,702</b>	<b>6,157</b>
<b>経 常 利 益 ( △ は 損 失 )</b>		<b>△ 1,495</b>	<b>3,516</b>
<b>特 別 利 益</b>		<b>90</b>	<b>-</b>
固 定 資 産 等 処 分 益		90	-
<b>特 別 損 失</b>		<b>224</b>	<b>651</b>
固 定 資 産 等 処 分 損		78	453
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		146	198
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		20	15
<b>税 引 前 四 半 期 純 利 益 ( △ は 純 損 失 )</b>		<b>△ 1,649</b>	<b>2,849</b>
法 人 税 及 び 住 民 税		66	66
法 人 税 等 調 整 額		630	1,121
法 人 税 等 合 計		696	1,188
<b>四 半 期 純 利 益 ( △ は 純 損 失 )</b>		<b>△ 2,346</b>	<b>1,660</b>



## 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

2012 年度第 3 四半期会計期間末	
1. 会計上の変更、過去の誤謬の訂正	
2011 年度の税制改正に伴い、当第1四半期会計期間より、2012 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。	
2. 契約者配当準備金の異動状況は、以下のとおりであります。	
イ. 当期首現在高	2,794 百万円
ロ. 当第 3 四半期累計期間契約者配当金支払額	385 百万円
ハ. 利息による増加	1 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	15 百万円
ホ. 当第 3 四半期会計期間末現在高	2,426 百万円

(四半期損益計算書関係)

2012 年度第 3 四半期累計期間
1. 普通株式に係る 1 株当たり四半期純損失は 36,673 円 81 銭であります。この金額は、四半期純利益 1,660 百万円から普通株主に帰属しない優先配当金要支払額 2,722 百万円を控除した△1,061 百万円を基に算出しております。

## 5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2011年度 第3四半期累計期間 (2011年4月1日から 2011年12月31日まで)	2012年度 第3四半期累計期間 (2012年4月1日から 2012年12月31日まで)
<b>基礎利益</b> <b>A</b>	<b>△ 8</b>	<b>105</b>
キャピタル収益	5,005	7,626
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	4,343	7,486
金融派生商品収益	631	—
為替差益	—	139
その他キャピタル収益	30	—
キャピタル費用	4,149	2,529
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	1,585	2,035
有価証券評価損	2,332	338
金融派生商品費用	—	154
為替差損	231	—
その他キャピタル費用	—	—
<b>キャピタル損益</b> <b>B</b>	<b>855</b>	<b>5,097</b>
<b>キャピタル損益含み基礎利益</b> <b>A+B</b>	<b>847</b>	<b>5,202</b>
臨時収益	294	193
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	3	—
その他臨時収益	291	193
臨時費用	2,637	1,879
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	900	585
個別貸倒引当金繰入額	—	14
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	1,737	1,280
<b>臨時損益</b> <b>C</b>	<b>△ 2,342</b>	<b>△ 1,686</b>
<b>経常利益(△は損失)</b> <b>A+B+C</b>	<b>△ 1,495</b>	<b>3,516</b>

(注) 1. 外貨建保険商品に係る為替差損益は、基礎利益に含めています。

2. 「その他臨時収益」は、契約条件変更に基づく早期解約控除額及び個人年金保険の解約等による責任準備金削減額です。

3. 「その他臨時費用」は、移転保険契約価値償却です。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

### (1) 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	2011年度末	2012年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	135,337	146,522
資本金等	60,618	62,279
価格変動準備金	703	901
危険準備金	18,755	19,341
一般貸倒引当金	13	7
其他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	9,708	11,990
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 4,593	△ 4,891
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	48,255	54,280
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	1,875	2,614
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	27,812	27,704
保険リスク相当額 $R_1$	2,036	2,092
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	1,034	963
予定利率リスク相当額 $R_2$	1,385	1,851
最低保証リスク相当額 $R_7$	3,491	3,057
資産運用リスク相当額 $R_3$	22,159	22,023
経営管理リスク相当額 $R_4$	602	599
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	973.2%	1,057.7%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は2011年金融庁告示第25号第1項第1号に規定する額、「負債性資本調達手段等」は同告示第1項第2号に規定する額、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第1項第3号に規定する額を記載しています。
3. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## (2) 連結ソルベンシー・マージン比率

2012年度第3四半期連結会計期間末において、子会社であるマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社及びマニユライフ・インベストメンツ・ジャパン株式会社との連結ソルベンシー・マージン比率を算出し開示しています。

(単位:百万円)

項 目	2011年度末	2012年度 第3四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	135,672	146,703
資本金等	60,954	62,460
価格変動準備金	703	901
危険準備金	18,755	19,341
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	13	7
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	9,708	11,990
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 4,593	△ 4,891
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	48,255	54,280
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	1,875	2,614
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	27,706	27,453
保険リスク相当額 $R_1$	2,036	2,092
一般保険リスク相当額 $R_5$	—	—
巨大災害リスク相当額 $R_6$	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	1,034	963
少額短期保険業者の保険リスク相当額 $R_9$	—	—
予定利率リスク相当額 $R_2$	1,385	1,851
最低保証リスク相当額 $R_7$	3,491	3,057
資産運用リスク相当額 $R_3$	22,054	21,774
経営管理リスク相当額 $R_4$	600	594
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	979.3%	1,068.7%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び2011年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は2011年金融庁告示第25号第4第1項第1号に規定する額、「負債性資本調達手段等」は同告示第4第1項第2号に規定する額、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第4第1項第3号に規定する額を記載しています。
3. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2011年度末	2012年度 第3四半期会計期間末
個人変額保険	5,088	5,067
個人変額年金保険	1,365,264	1,371,958
団体年金保険	—	—
特別勘定計	1,370,353	1,377,025

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2011年度末		2012年度 第3四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険(有期型)	0	1,258	0	1,172
変額保険(終身型)	2	6,254	2	5,984
変額積立特約	—	1,672	—	1,683
合 計	2	9,186	2	8,840

(注)保有金額には変額保険に付加された定期保険特約を含んでいます。

#### ・個人変額年金保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2011年度末		2012年度 第3四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	236	1,363,542	232	1,369,156
合 計	236	1,363,542	232	1,369,156

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

2012年度第3四半期においては、子会社等の規模を考慮し、当企業集団全体の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。

(参考)

## 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

2012年12月末時点での、当社における証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資は、以下のとおりです。

### 1. 投資状況

#### ①特別目的事業体(SPEs)一般

該当ありません。

#### ②債務担保証券(CDO)

(単位:百万円)

	時価	含み損益	実現損益
債務担保証券(CDO)	621	49	—
ABS-CDO	シニア/メザニン	621	49
	うちサブプライム・Alt-A エクスポート	—	—
	エクイティ	—	—
	うちサブプライム・Alt-A エクスポート	—	—
CLO	シニア	—	—
	メザニン	—	—
	エクイティ	—	—
CBO	シニア	—	—
	メザニン	—	—
	エクイティ	—	—
その他	シニア	—	—
	メザニン	—	—
	エクイティ	—	—

#### ③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポート

該当ありません。

#### ④商業用不動産担保証券(CMBS)

該当ありません。

#### ⑤レバレッジド・ファイナンス

該当ありません。

#### ⑥その他

(単位:百万円)

	時価	含み損益	実現損益
住宅ローン債権担保証券(RMBS)	320	18	—